

北九州市(福岡県)の一体的実施③

平成25年6月24日事業開始

隣接する八幡西区役所とハローワーク八幡黒崎駅前庁舎において、八幡西福祉事務所とハローワークによる生活保護受給者等に対する一体的支援等を実施

八幡西区(北九州市)

福祉サービス、相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・生活保護受給者、生活保護の相談・申請段階の者、住宅支援給付受給者、児童扶養手当受給者等の生活困窮者に対する支援

② 協定・事業計画

- ・北九州市長と福岡労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を八幡西区(北九州市)と福岡労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・八幡西区(北九州市)職員、福岡労働局職員、ハローワーク八幡職員等をメンバーとする運営協議会を設置

ハローワーク八幡専門援助第1部門に常設窓口を設置。区役所に隣接する立地を活用し、予約制・担当者制で職員が対応し、福祉から就労までの一体的支援等を実現。

(1) 実施体制

八幡西区(北九州市)

・生活保護課 就労支援専門員 1名

国

・就職支援ナビゲーター 2名
・求人情報提供端末 2台 、 職業紹介端末 2台
(福祉・就労支援コーナー専用)

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(25年10月末時点)														
新規支援対象者数	生活保護受給者等に対する就労支援を、新たに年間250人以上実施する。	<table><tr><td>新規対象者数</td><td>延べ相談件数</td></tr><tr><td>6月 11人</td><td>22件</td></tr><tr><td>7月 22人</td><td>74件</td></tr><tr><td>8月 28人</td><td>127件</td></tr><tr><td>9月 35人</td><td>99件</td></tr><tr><td>10月 28人</td><td>95件</td></tr><tr><td>計 124人</td><td>417件</td></tr></table>	新規対象者数	延べ相談件数	6月 11人	22件	7月 22人	74件	8月 28人	127件	9月 35人	99件	10月 28人	95件	計 124人	417件
新規対象者数	延べ相談件数															
6月 11人	22件															
7月 22人	74件															
8月 28人	127件															
9月 35人	99件															
10月 28人	95件															
計 124人	417件															
就職率	就労支援の対象とし新規就労支援の就職者数及び就職率 ・113人 、 ・45.0%以上	就職者数及び就職率 (25年10月末時点) ・47人 、 38.0%														

一体的実施事業による就職成功例

男性：40歳 希望職種：作業員

○ 本人の状況・背景

- ・母親の介護のため離職し、介護を続けながら就職活動を行うも就職に至らず、生活保護受給。

① 抱える課題

- ・長期に及ぶ失業期間のため就業への自信・意欲が低い。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・母親の介護支援を最大限利用するようケースワーカーと相談し、介護施設へ入所を決めた。
- ・就労への自信回復のための面談を重ね、履歴書・職務経歴書作成のアドバイスを行った。
- ・離職を余儀なくされた悔しさからか、面談時は否定的な言葉が多かったが、面談を重ね意欲的になった。

③ 結果

- ・リサイクル工場の選別作業員として正社員採用
※支援期間 6か月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・長期失業で人生を諦めているようだったが、面談を重ね、前向きな気持ちでの就職活動で採用決定。

女性：62歳 希望職種：①調理補助②清掃

○ 本人の状況・背景

- ・8年間就労した調理補助を体調不良により退職し、身寄りもなく求職活動も困難なため、生活保護受給。

① 抱える課題

- ・身体的課題（難聴、年齢、体力）により自信喪失し、就職意欲が減退。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・希望職種優先のため経験職種を含めた職種の選択を行うことをアドバイスした。
- ・身体的課題を考慮した求人情報の提供を頻繁に行い就職意欲の喚起に努めた。
- ・週1～2回来所指示を行い綿密な個別相談を実施し、モチベーションの維持に努めた。

③ 結果

- ・マンション清掃員としてパート採用
※支援期間 2か月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・阻害要因による後ろ向きな姿勢を、情報提供や相談を頻繁に行うことで意欲喚起ができ、採用決定。